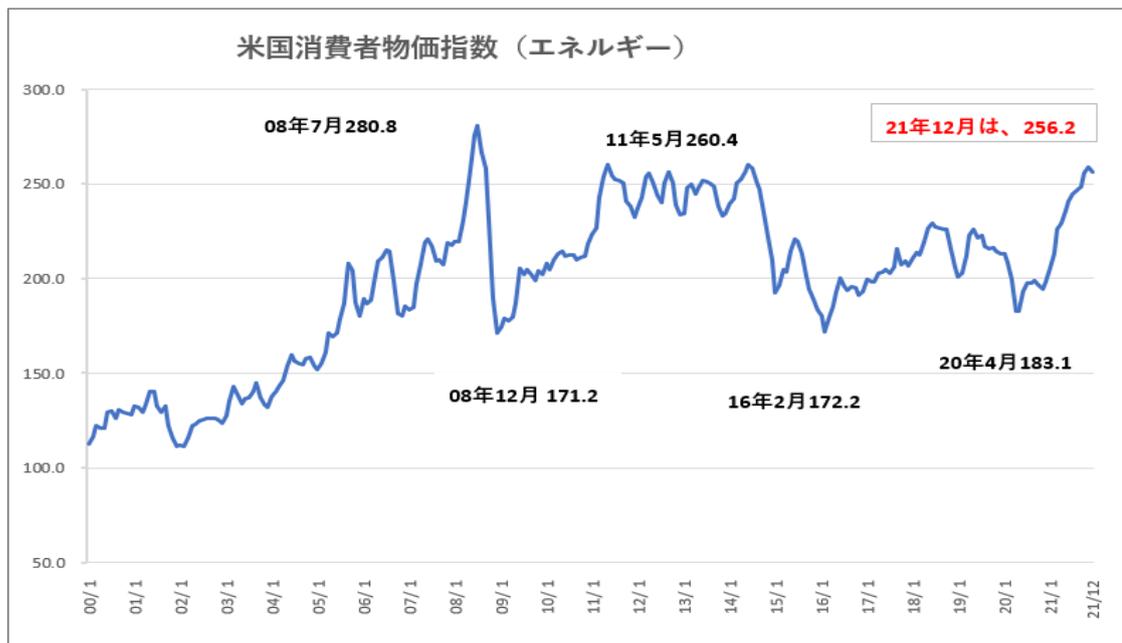


(令和4年1月17日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識編) >  
(「雑感」、前年同月比)

今回は、雑感です。

最近の統計データを見ていると前月比、前年同月比が大きく動いていますが、前年同月比を見る際には注意が必要。経済産業省の「指数の作成と利用 (第8版)」では、第5章に「前年同月比の見方」という項があり、「単純に当月について前年同月との水準比較を行う場合には問題はありません」「前年同月比を時系列に並べて比較する方法には一定の前提条件が必要」「前月の前年同期比と当月の前年同期比を比べて前月より当月の方が上昇しているかどうかは、前年の変動が十分に分析されていなければなりません」と解説されています。(以上・抜粋)



米国労働省ウェブサイト、消費者物価指数より作成

最近の統計、新型コロナ・ショックで大きく落ち込み、ショックの性格上回復ピッチが速いのが特徴です。前年同月比は単純水準比較に位置付け、原指数の推移をグラフで確認しておくのと分かりやすい。ピーク・ボトムの経済状況を知れば、さらに理解が進みますが…ここまではどうか。また、12 か月前比較に加えて、新型コロナ・ショック直前の水準と比較をした方が直近の動きはわかりやすいなど…。自分なりに一歩深掘すると、数値は多くのことを教えてくれます。

(了)